

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 社会科

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状> 個人で考える活動やグループで考える活動を多く取り入れており、発言も活発に行われている。アンケートからも意欲的に授業に取り組んでいる生徒が多いことがわかる。</p> <p><課題> 自ら单元ごとに見通しをもって学習を進めていくことが不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら单元ごとに見通しをもって学習が進められるよう、单元シートを活用し、毎授業振り返りの時間をとる。 ・グループで意見を共有し、他人の考えを参考に、自分の单元の問いに対する見通しをもてるようグループ活動の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元シート ・授業プリント ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元シートの進め方や授業プリントのまとめ方、单元のまとめ課題の評価の指標などを再度説明し、自から学びを調整する力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動が活発に行われ、他者の意見を聞いて、自分の意見を述べるという力がついてきている。今後は『書く力』をさらにつけられるよう取り組んでいきたい。
2年	<p><現状>单元シートを活用し、授業ごとに单元の問いに対する自分の考えの変化を書かせている。アンケートから多くの生徒が前向きに授業に取り組んでいることがわかる。</p> <p><課題> 单元シートを基に自分の意見をしっかり持っている生徒とそうではない生徒の差が大きい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・单元シートをきちんと書かせる時間をとり、自分の考えを持たせる。 ・自分の意見や考えを他人に説明し、他人の意見から自分の考えを再構築できるようなグループでの活動の場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元シート ・授業プリント ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元シートの意図を繰り返し説明したことで、单元シートの提出率も上がり、内容も充実してきた。生徒の記述内容をしっかりとフィードバックしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元の見通しを生徒に持たせながら指導することができた。今後は授業時間内にしっかりと振り返りの時間をとることで、自ら学びを調整する力のさらなる向上を図りたい。
3年	<p><現状> 授業シートを用いて、生徒が各单元の目標や授業の流れを把握・事後確認することを容易にしている。評価アンケートのNo.1 と回答で、8割以上から好評を得られた。</p> <p><課題> 評価・評定について十分な説明がされていると感じている生徒が7割だった。学習意欲向上と学習の見通しをもたせるために、より丁寧な説明、指導が求められる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「表現力」の向上に向け、グループの中での意見交換を積極的に授業に取り入れる。また、学習シートや定期考査に記述問題を入れて、「書く力」の育成を進める。 ・学習シートに自己評価欄を設け生徒自らが学習状況を振り返ることができるようにする ・授業の取り組み、提出物の成果が、どのように評価・評定に結びつくか、評価・評定の明確化によって生徒の学習意欲の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・各種提出物 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元に1度の意見交換の場を設定することを試みたが、活発な意見交換とはならなかった。 ・学習ポイントの明確化とわかった感を達成感をもたせることに工夫と改善の必要がある。 ・わかりやすい評価にむけて改善の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成を図るために、授業における意見の交換の機会を積極的に増やしていく。 ・授業の最初にプリントに取り組む時間の意義を生徒に理解させ、ポイントの明確化を図る。 ・新たな評価材、評価方法について検討、導入を図る。

